

松居松翁 まつゐら まつむね 小説家、劇作家、演出家。明治二年二月十八日陸前國鹽釜生まれ、昭和八年七月十四日歿（八七〇—一九三三）。本名真之 まきはろ。別號十八八子、大久保二八子、室町月人、日本パインリーフ、松の舎、松居松葉、松居駿河町人、松葉、松葉子、松葉道人、松生、駿河町人等。上京して國民共進會等に入學。坪内逍遙の入門して第一次「早稲田文學」の編輯に従事。次で「報知新聞」、「萬朝報」記者の傍ら小説、翻譯を發表。のち劇界に入り、明治座、文藝協會、松竹の活動、大正二年には河合武雄とハム象劇團を興した。十二年松葉を松翁と改稱。脚本總數百四十餘といふ。隨筆家松居桃樓の父。

著譯書「亡國星」（松居松葉名、明治二十二年九月十二日春陽堂）、

「東北 西南探涼案内」（同、合著・萬朝報探涼軍記者一片山及彦編、明治

二十四年七月十八日博文館）、「御伽草紙」（同、明治二十五年四月

一日藝文社書店）、「女の義理」（同、明治二十五年十一月二十一日

青木嵩山堂）、遺稿 小説「一夜畫工」（同、明治二十六年七月十八日青木

嵩山堂。モリエール原作）。サン・ゼルマン著「西洋手相判斷」（同、

纂譯、明治二十六年七月二十日大學生館）、「白雪姫・後篇」（同、明

治二十六年十月七日青木嵩山堂）、ウイリアム・ル、キユー作「虚無

魔奇談」（同、譯、明治二十七年九月二十日藝文社書店）、「白鶴草

全書（増補第五版）」（同、奥附一増

補第四版、明治四十年五月十日内外出

版協會）、「お茶袋と盛遠」（明治四十

一年一月二十日隆文館）、「リアナナド

・シヨウ作」二十世紀一喜劇開幕」（松



居駭河町人名、譯、大正元年十一月十五日春陽堂）、ウキルヘルム・
 マイエル・フエルスタア作「思ひ出（ヤルト・ハイデルベルグ）」（松
 居松葉名、譯、大正二年一月十九日森本 謙藏金座種次郎刊、近代文藝社）、ホ
 フマンスタール作「エレクトラ」(同、譯、大正二年九月二十一日鈴
 木書店)、トルストイ作、エドモンド・ギュロー脚色「脚本アンチ・カ
 レニチ」(同、補譯、大正五年九月二十三日新潮社)、可選人手形帳
 (同、大正八年四月二十八日玄文社)、可續劇壇今昔 (再版、大正十
 五年七月十日中央美術社)、可續劇壇今昔 (大正十五年七月二十
 五
 日中央美術社)、可高野長英一松翁戲曲集 (昭和四年十月一日新潮
 社)等。

